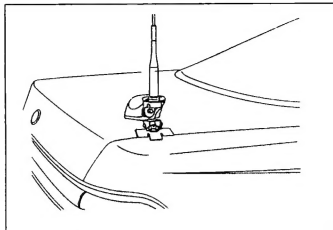


●オプション（別売品）

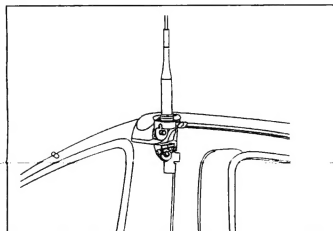
基台を車体に取り付ける場合には、別売の専用マウント金具と同軸ケーブルセットが必要です。取付け場所にあわせてお選びください。

① KTH（トランク／ハッチバック用）取付例

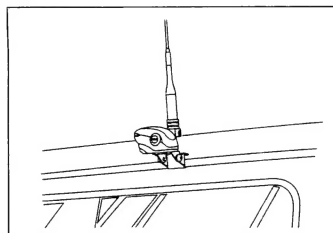
トランク取付例



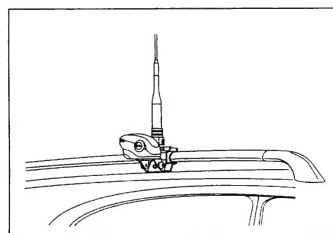
ハッチバック取付例



② KRS（ルーフサイド用）取付例



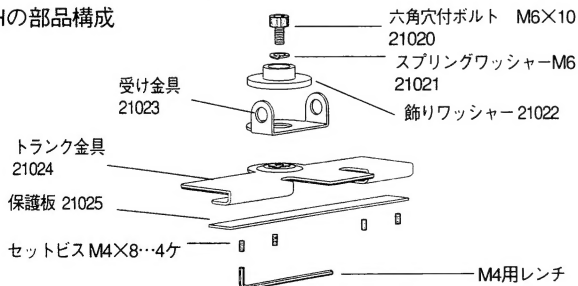
③ KRR（ルーフレール／キャリアパイプ用）取付例



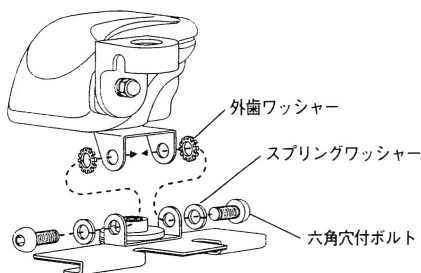
●各種マウント金具の部品構成と基台本体への取付方法

① トランク／ハッチバック用マウント金具

KTHの部品構成

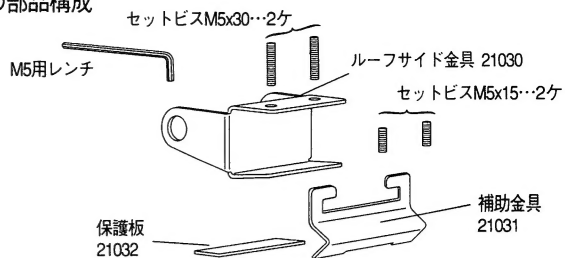


KTHの取付方法

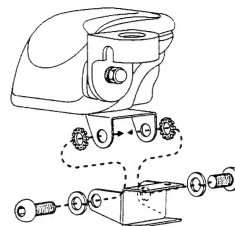


② ルーフサイド用マウント金具

KRSの部品構成

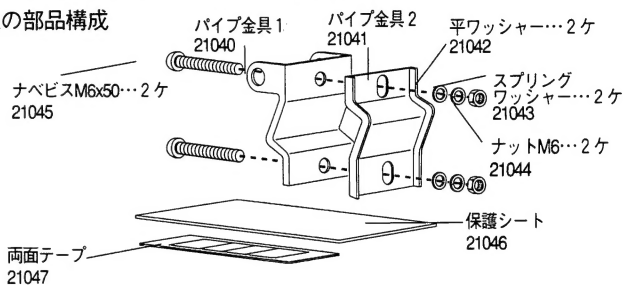


KRSの取付方法

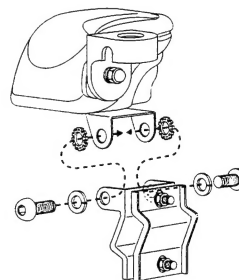


③ ルーフレール／キャリアパイプ用マウント金具

KRRの部品構成



KRRの取付方法



●車体への取付方法

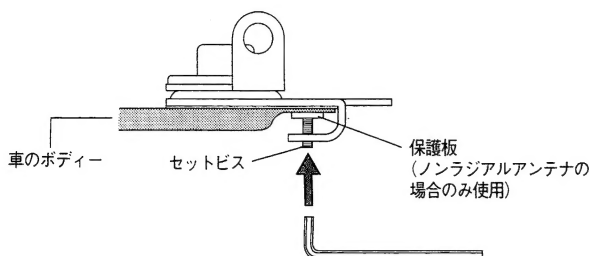
⚠ 注意

- * この基台に採用されているスプリング式バックトルクリミッターは、アンテナを立ち上げてリミットスイッチが動作した状態のときだけに動作し、ギヤのバックラッシュをなくす構造になっています。したがって、アップとダウンの位置を逆にして取付けることは出来ません。アンテナを前後逆方向に倒す場合には、基台本体の向きを変えてください。
- * 基台を固定した塗装面は、直射日光が当たらないため、他の部分と色合いが異なってくることがあります。当社基台の一部に付属されているキズ防止用ゴムシートは非汚染性ですので、このゴムシートが原因で塗装面が変色することはありません。
- ・ ノンラジオアンテナ以外のアンテナをご使用になる場合には、マウント金具が電氣的に直接車体に接触するようにしてください。マウント金具と車体が絶縁しているとSWRが下がらないことがあります。
- ・ 基台を取り付けたところからサビが発生することがありますので、あらかじめ塗装のはがれたところにサビ止めを塗っておいてください。
- ・ 電源コードや同軸ケーブルを車内に引き込んだところから水が浸入することがありますので、注意してください。

① トランク／ハッチバック (KTHマウント金具)

取付方法

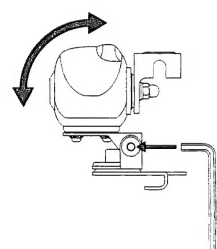
- ・トランクやハッチバックの開閉に支障のない場所を選んでください。
- ・ノンラジアルアンテナをお使いの場合は、セットビスによるキズを防止するため付属の保護板をお使いください。ノンラジアル以外のアンテナを使う場合は、保護板を使わず基台とボディーを完全に導通させてください。



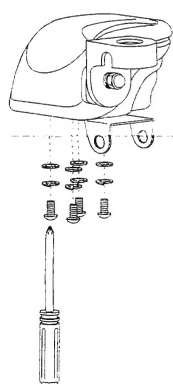
- ・ハッチバック車の場合には次の方法で基台の角度調整を行います。



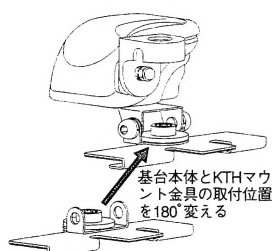
- ① KTHマウント金具上面についているボルトを緩めて横に回します。



- ② 基台本体を起こして基台が水平になるようにしてください。



- ③ 基台本体底面のビスを緩め、基台本体を横に回転させてアンテナの倒れる方向を調整します。また、50度以上回転させる場合には、基台本体とベース金具を一度取り外して向きを変えてください。

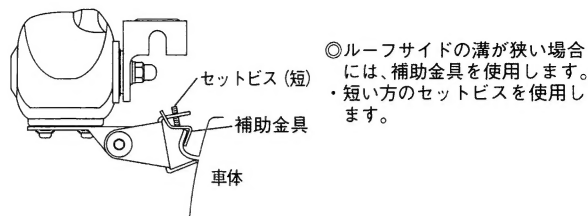


- * 基台が車体等に接触して角度調整が出来ない場合には、基台本体とKTHマウント金具の取付けを180度変えてください。

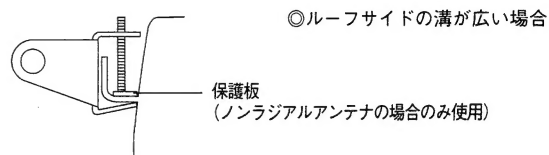
② ルーフサイド (KRSマウント金具)

取付方法

- ・ノンラジアルアンテナをお使いの場合は、セットビスによるキズを防止するため付属の保護板をお使いください。ノンラジアル以外のアンテナを使う場合は、保護板を使わず基台とボディーを完全に導通させてください。



- ◎ ルーフサイドの溝が狭い場合には、補助金具を使用します。
- ・ 短い方のセットビスを使用します。



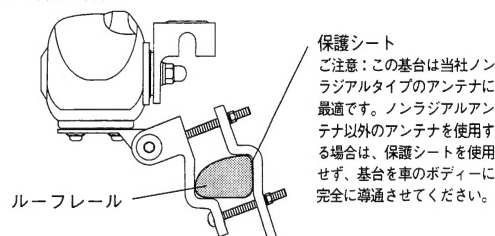
- ◎ ルーフサイドの溝が広い場合

③ ルーフレール／キャリアパイプ (KRRマウント金具)

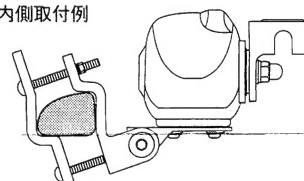
取付方法

- ・ノンラジアルアンテナをお使いの場合は、キズを防止するため付属の保護シートをお使いください。ノンラジアル以外のアンテナを使う場合は、マウント基台とボディーを完全に導通させてください。

◎ ルーフレールの外側取付例



◎ ルーフレールの内側取付例

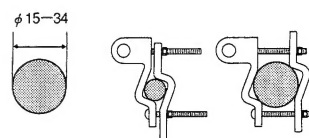


- ・ KRRマウント金具はルーフレール以外に丸パイプや四角材にも取付けることができます。

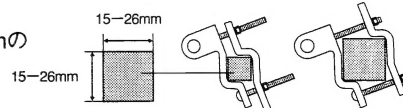
※取付可能パイプおよびルーフレールの寸法

金具の調整でいろいろなタイプのパイプやルーフレールに取付可能です。

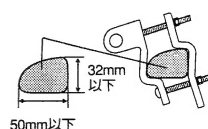
① φ15-34の丸パイプ



② 一辺が15-26mmの角パイプ



③ 断面の高さ32mm以下、幅50mm以下のルーフレール

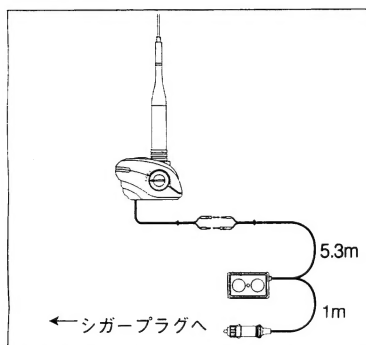


●電源コード配線

⚠ 注意

- 電源コードは両方ともプラスの電圧がかかります。配線のときには電源コードに無理な力が加わったり、挟まれて被覆が破れるとショートしてヒューズが破損することがあります。

- ① コントロールBOXのコネクタと基台本体のコネクタを接続します。



●同軸ケーブル配線

⚠ 注意

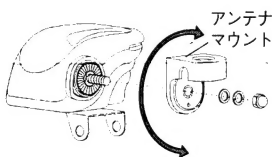
- ケーブルに無理な力が掛からないように注意して配線してください。

●動作角度調整

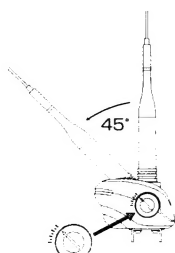
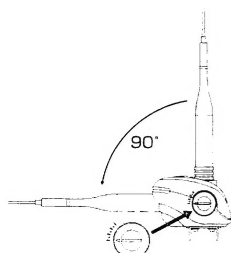
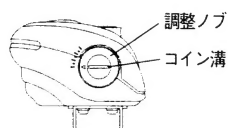
⚠ 注意

- 角度調整を行なうときは、必ずアンテナを立ち上げた状態で行なってください。倒したまま調整ノブを回すとリミットスイッチが破損することがあります。
- * 出荷時の調整ノブの動作角度は45° に設定してあります。

- ① コントロールスイッチを操作して立ち上がった状態にセットします。
- ② アンテナマウントのナットをゆるめ、アンテナが垂直に立つ位置にセットします。



- ③ 調整ノブのコイン溝にコインを入れ、希望の倒し角度に目盛をセットします。



- 調整後はネジをしっかり締め付けてください。

●ギア破損防止クラッチについて

アンテナに無理な力が掛ると、基台を保護するためのギア破損防止クラッチが動作します。このクラッチは、アンテナマウントと基台本体のそれぞれに付いている放射状の溝が空転する構造になっています。ギア破損防止クラッチが動作した場合にはアンテナが倒れたままになりますので、もう一度アンテナマウントのナットを緩めてアンテナが垂直に立つ位置にセットし直してください。

⚠ 注意

ギア破損防止クラッチは何度も動作させると溝が磨耗して倒れ易くなります。この場合には、次の部品を新しい物に交換してください。(有償)

| 部品名 | 部品番号 | 数 |
|-----------|--------|----|
| マウントワッシャー | 21002A | 1個 |
| アンテナマウント | 21003A | 1個 |

●仕様

| | |
|--------------|-------------------------|
| 取付可能アンテナ長 | 1.4m以下 |
| 取付可能アンテナ重量 | 350g以下 |
| 動作電圧 | 13.8V (10~16V) |
| 動作電流 | 0.4A以下 |
| 動作時間 | 約4秒 (0~90°) |
| 動作角度 | 45~90度 |
| 重量 | 0.44Kg (マウント金具を含まない) |
| 大きさ (基台本体のみ) | 64W×66H×102D(mm) |
| ヒューズ容量 | 0.8A |

指定された0.8アンペア以外のヒューズは絶対に使用しないでください。基台が破損することがあります。

- お買い求めいただきました製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら販売店にお申しつけください。
- この製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。